

外出時、蚊にはご用心

著者	井上 智代
雑誌名	新潟日報 上越かわらばん
巻	1782
ページ	2-2
発行年	2016-08-07
URL	http://hdl.handle.net/10631/00001346

すのでしようか？

では、どう対応したら

まくってしまいますが、

基本的には、蚊は花の

よいのでしようか？

蚊が人肌を素早く感知し

蜜などの糖分をエネルギー

蚊は水がある場所を好

て近づき、服の中まで侵

入源として生活していま

み、卵を産みつけます。

入することもありますがの

す。しかし、メスの蚊は

プランターや植木鉢の水

で要注意です。また、市

産卵のためにエネルギー

受けなどは、水を貯めた

販の虫よけスプレーなど

が必要となつて、人や動

ままにせずこまめに除去

を併用されるとさらに効

果的です。

しましう。田

んぼや池、沼や

井上 智代

刺されればかゆいです

し、かきむしると、時に

は黄色ブドウ球菌という

細菌が原因で、とびひに

なつてしまいます。特に

小さな子どもは「かいた

らダメ」と注意しても、

つかかきむしってしまい

ますので、外出時、注意

してあげてください。

（第1日曜掲載）

き、「チクっ」と刺して

ボンを着用しましょう。

農作業の際は長袖長ズ

ツトが見つかった！」と

がいいです。

湿地、草むらに半袖半ズ

どを感じして、「ターゲット

態で近づくのもやめた方

物気配を探すのです。

人が発する臭いや温度な

ボンなど肌を露出した状

頭痛や筋肉痛、発疹など

亡することもあります。

なる「ぶくん」と近づ

が現れ、重症化すると死

では、蚊はなぜ人を刺

吸血するのです。

そのな時に気をつけて

いたいただきたいのが蚊で

す。中には恐ろしい病氣

の原因になる蚊もいま

過ごしてしう

か。これから

すます夏野菜が盛りとな

り、農作業をされたり、

小さいお子さまは元気に

屋外で遊んだりする機会

が多いのではないかと思

います。

そんな時に気をつけて

す。中には恐ろしい病氣

の原因になる蚊もいま

外出時、蚊にはご用心